

昭和六十二年八月十八日提出
質問第一五号

電力の需要供給の実績と計画に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和六十二年八月十八日

提出者 坂上富男

衆議院議長 原 健三郎 殿

電力の需要供給の実績と計画に関する質問主意書

電力需要には日変化、季節変化があり、将来も変化は顕著となると推定される。電力供給は需要の変化に対応して（負荷に追従して）されなければならない。それゆえ、負荷追従の不可能なベース供給力（流れ込み式水力、原子力、巨大火力）だけでは需要の変化に対応した発電はできず、原発や巨大火力の増加に伴い、ピーク供給力としての揚水発電が建設されてきた歴史的事実がある。

従って、次の事項について質問する。

一 今後ともベース供給力の増加に伴い揚水発電を増加する必要があると考えるが、これまでの実績と今後の計画はどのようなようになっていくか。

二 柏崎原発一号（二一〇万 Kw ）は電源開発（株）の奥清津揚水発電所（二〇〇万 Kw ）と組み合わせられ

て運転されているが、今後二、五、三、四、六、七号と運転が開始された場合、揚水発電所はどこに計画しているか。

三 電力会社別の需要の日変化と季節変化の実績と将来予測（昭和四五年以降と六五年、七一年の予測）。

四 電力会社別の最大需要と年間需要の実績と将来予測（昭和四五年以降と六五年、七一年の予測）。

五 電力会社別の発電施設の保有実績と今後の計画を供給力別（ベース、ミドル、ピーク）に分類し示されたい。

右質問する。